

「オープンデータ」が拓く スマートシティ構想

— 持続的な地域スマート化推進に向けて —



↑
セミナー参加はこちら

日時

令和3年10月23日(土)

13:30 ~ 15:30

ZOOMにて13:00受付開始

会場

ZOOMにてオンライン配信

定員50名まで

講演概要

現在、各地において、地域住民の生活の品質を高めるとともに、防災、減災、エネルギーなどの諸課題に対応するために、積極的にAIやIoTなどのICTを活用する新たなまちづくりとして、スマートシティ構想が掲げられ、スマート化推進プロジェクトが進められている。

スマート化を持続的に推進するには、自治体以外の主体が積極的に取り組む環境整備が必要不可欠であることが指摘されている。そのためには、自由に利用できるデータである「オープンデータ」を国・地方公共団体において収集・公開し、これを利用する取り組みが進んでいる。講演では、地域におけるデータ利活用の現状と課題について説明し、そうした課題解決を目指して津田塾大学総合政策学部において展開中のプロジェクトについて紹介する。

参加費無料

講師プロフィール



講師 小舘 亮之
津田塾大学 副学長
総合政策学部総合政策学科 教授

- ・早稲田大学大学院理工学研究科博士課程了 博士(工学)
- ・独ハノーバー大学研究員
- ・通信・放送機構早稲田リサーチセンター研究員
- ・早大国際情報通信研究センター助手
- ・客員助教授を経て2005年より津田塾大学学芸学部情報科学科准教授
- ・2012年より同大教授
- ・2017年より同大総合政策学部教授
- ・2020年より同大副学長(広報・学生担当)
- ・総務省情報通信政策研究所特別研究員
- ・高知医療再生機構理事
- ・情報品質を考慮した情報サービス/システムの研究に従事
- ・電子情報通信学会、情報処理学会、情報通信学会、IEEE 各会員